



徳島大学長 青野 敏博 あおの としひろ

創立60周年の徳島大学へようこそ

徳島大学へようこそ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。晴れて徳島大学生となられ、大きな希望を胸に抱いておられることでしょう。

これからの4年間ないし6年間の学生生活において、一般教養を学び人間性を高めるとともに、専門的知識と技術を身につけ、将来の職能に生かすことができるように導きます。

徳島大学は今や世界のトップレベルの大学としての評価を受け、さらにそのレベルを向上させつつあります。例えば、研究面では平成15年度には文部科学省の21世紀COE（卓越した研究教育拠点）

プログラムに2つの拠点が選ばれました。また、教育面では文部科学省の大学教育改革支援事業には平成15年度以降毎年採択され、これまでに合計17件採択されています。このように研究面、教育面ともに、わが国ではモデル大学としての地歩を固めています。

創立60周年を迎えて

徳島大学は昭和24年に学芸学部、医学部、工学部の3学部で発足し、今年で60周年を迎えました。その後薬学部と歯学部を加え、また学芸学部は総合科学部に改組されて現在の総合科学部、医学部、歯学部、薬学部、および工学部の5学部となっています。大学院は総ての学部が博士課程または博士後期課程を持っています。

この2年間に相次いで共通講義棟の4号館および5号館と図書館が改修され、新入生の皆様には新装なった講義棟で授業を受けていただくことができます。

徳島大学の目指すもの

1 特色ある教育システムの構築

「教育」に関して免許証を持つているわけでもなく、それぞれの先生が自分の判断で授業の内容を決定し、シラバスを作り、授業を行っています。受講するみなさんも原則として自由にどの講義でも聴くことができます。ある意味で「教育」も自由だし、みなさんの「学習」も自由というのが大学の教育システムです。とはいえ、各学部・学科のカリキュラムは、それぞれの専門分野の長い歴史を考慮して構成されており、修了時には各分野の知識がしっかりと身に付くようになっています。

全学共通教育科目は、これらの専門教育の基盤となり、みなさんを取り巻く環境（文化や科学）をよりよく理解するために、学部・学科を横断して共通に行われている授業科目です。学習するみなさんの観点から、5つの科目群に分類されています。たとえば、「コミュニケーション能力を身に付けるには」「基盤形成科目群」「社会性形成科目群」の授業科目が役立つ、といった具合です。

まず、進取の気風、人間性そして専門能力を養う教育プログラムを策定です。学生の個性に合わせた能力開発の視点に立ち、進学と就職を考慮した専門基礎教育の充実を図ります。また高度専門職の養成と研究者の輩出を目指して大学院教育の改革を行いました。そのためには不断のファカルティ・ディベロップメント（教育者の資質向上）を推進し、学生とともに教育の改革を行います。

2 独創的で世界トップレベルの研究拠点の構築

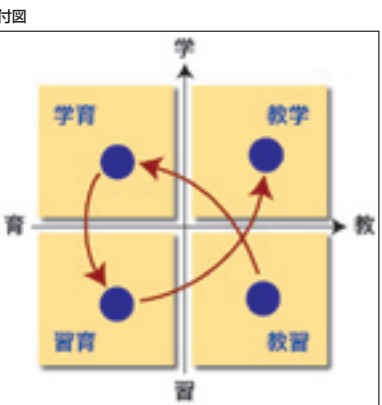
蔵本地区では医学、歯学、薬学、栄養学、および保健学研究科の統合大学院「大学院ヘルスバイオサイエンス研究部」を平成16年4月に設置し、組織横断的に研究や教育を行うことが可能になりました。疾患酵素学研究センターや疾患ゲノム研究センターとも共同して独創的な生命科学研究が展開されています。

一方、常三島地区でも平成18年4月に工学部の大学院を部局化した「大学院ソシオテクノサイエンス研究部」が設置され、更なる研究、教育の発展が期待されます。平成21年度からは総合科学部には「大学院ソシオアーツアンドサイエンス研究部」が設置されます。

アクティブラーニング「学習」の勧め

先ほど、先生の「教育」も、学生の「学習」も自由だと言いましたが、最近の大学では先生方は教育に大変熱心で、教えるスキルを磨くために日夜努力をされています。教育者の技能開発：ファカルティ・ディベロップメント（Faculty Development FD）と呼ばれる「学習」も、学習者の技能開発：（Student Development SD）と呼ばれる「教育」の両方、今どきの「学びの技」は、みなさん一人ひとりの努力にゆだねられています。したがって、みなさんは学びの技をみなさん自身で育てなければなりません。学びを育てるといって、「学習」と呼びます。これは先生が行う「教育」と学生のみなさんが行う「学習」のそれぞれから一字ずつ選んで作った造語。「教育学」、「教育」、「学習」、「習育」からヒントを得た熟語です。付図では、座標として横軸に教育、縦軸に学習をとり、これらを4つの象限に対応させてみました。第一象限には教と学を組み合わせた「教学」が、同様に、第二、第三、第四象限には、それぞれ学習、習育、教育に対応します。

先生と学生のどちらかに主体性を持たせるかによって平面上での位置が変化することに注目してください。



授業における4つのモードとその時間的推移の例

知識基盤社会で活躍するための学びのスタイルを確立しよう



教育担当副学長 川上 博 かわかみひろし

ご入学 おめでとうございます

みなさん、徳島大学に入学おめでとうございます。まずは長かった受験勉強から解放されたれ、これからの学生生活をいかに過ごすが、色々と実現したい目標に思いをはせていることでしょうか。私たち教職員一同は、みなさんを心から歓迎し、みなさんのキャンパスライフを豊かにするお手伝いができることを楽しみにしております。入学時は色々と初めて体験する事柄が多く、大変混乱する時期でもあります。分からないことが

大学での教育と学習の仕組み

入学式を挟んで前後で行われる「オリエンテーション」や「大学入門講座」で大学生活の概要はつかめたことと思います。これらの情報を基にして勉学の設計とこれからの大学生生活の目標を考え、それらを少しずつ具体的に実行に移せば良いです。

おもむきながら、大学の先生は

3 密接な産学官の連携と幅広い地域貢献

本学では産学官の連携に取り組むため「研究連携推進機構」を立ち上げ、また幅広い地域貢献に資するために「社会連携推進機構」を設置し、活動を行っています。前者は知的財産の保護と産業界への技術移転を推進し、後者は地域社会の総合支援を行っています。このように社会貢献の面でも徳島大学は開かれた大学として地域とともに歩んでいます。

諸君はこのような大学で学ぶことを誇りに思い、健康に留意し、有意義な学生生活を送られて、幅広い人間性を高め、夢と希望に向けてチャレンジされるよう願っています。



情報伝達の観点からみて、よい講義とは、第四象限の教習を中心にして、4つの象限を適切に力点が動く先生と学生の共同作業といつてよいでしょう。「学習のモード」になった時点で授業に積極的に参加する能動的な学習態度こそ、みなさんに「学びの基盤」として身に付けてほしい技なのです。

授業がおもしろいのは、先生が講義上手だからというだけではなく、みなさんもまた学び上手でなければなりません。本学の教育理念にある「進取の気風」には、みなさんが学び上手になり、それぞれの「学びのスタイル」を創造してゆくとへの期待が込められています。学びの相談室、オフィスアワー、本学のeシラバスに付属する検索・学習経路表示ソフトウェア・ラーニングパス・ファイナダー

<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/PLF/>などを活用して、進取の気風にあふれるあなた自身の学習スタイルを展開してください。

総合科学部人間社会学科3年
重松 由貴 しげまつ ゆき



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

「大学生」は自由なイメージを持たれがちですが、本当にその通りです。自由な時間が今よりも相当多くなると思います。その時間を使って、バイトやサークル、部活など自分が好きなことや、やってみてい！と思っていることをやってみてはどうでしょうか。

わたしはサークル、部活をお勧めします！サークルや部活は、違う学年や学部、学科の人たちと出会える場のひとつです。同じ趣味を持った仲間と過ごす時間はとても充実している、楽しいと思います。

これから出会う仲間と毎日充実した日々を過ごし、最高の大学生活を送ってください。

医学部医学科4年

杉田 真理すぎた まり



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長い長い受験勉強からやっと解放されて、ホッとしているところでしょう。これから本当に楽しい大学生活の始まりですね。

高校生までの生活と大学生活で一番大きく違う点は、大学生活では、自分にやる気さえあれば、自分の世界をどこまでも広げていけるという点だと思います。世の中にはいろいろなヒトの集まりがあって、各々意欲的な活動をしているため、そこに参加して有意義な活動をするのもすごく良い経験になるでしょう。

大学生になると、いろいろな店でアルバイトが出来るので、少しでも興味があればどんどんバイトさせてもらいましょう。また大学内でも講義などで魅力的な先生を見つけたら、話しかけに行つて研究室に入入りさせて貰うのもいいでしょう。一年生でも歓迎されることが多いし、早くから医学に近づく事が出来るでしょう。また、旅行に行くのもいいと思います。旅先でその場所独特のものを売ったり、現地の人と話したりすることで、新たなものの見方が出来るようになるでしょう。

最後に、私はこれが出来なくて今、後悔しているのですが…。受験勉強で培った英語力を落とさないようにしましょう。医学科の人はその力を上手に医学英語へもシフトできるように、一年生の時から英語に触れ続ける事が大切です。ではみなさん、大学生活を思いっきり楽しんでください。

迷ったときは事務室へ
学務課共通教育係



大学へ入学したみなさんがまず最初に学ぶ授業科目に、「全学共通教育科目」があります。全学共通教育の授業科目は、①「大学入門科目群」、②「教養科目群」、③「社会性形成科目群」、④「基礎形成科目群」、⑤「基礎科目群」の5つの科目群から構成され、たくさん授業科目が設けられています。大学では、時間割は自分で作成します。みなさんは、シラバスや履修の手引きを確認しながら、授業を選び、履修登録をすることになります。新入生のみなさんにとって履修登録は初めての経験であり、とまどいことも多いかと思いますが、分からない時には、悩まずに、事務室へ来て、相談してください。

また、大学では、毎朝先生が教室に来て、今日の予定を教えてください。といったことはありません。教室変更、休講情報など大事なお知らせは掲示板に掲示しています。大学に来たら必ず掲示板を見る習慣をつけるようにしてください。

大学では、高校までの学生生活とは大きく異なります。入学した当初は、様々なとまどいや悩みが生まれてくるかと思いますが、どのようなことも結構です。気軽に事務室へ足を運んでいただき、相談していただけたらと思います。

図書館をどう使う？
学術情報サービス課利用支援係



図書館のカウンターでは、借りた図書を返す人や、自分が探したい資料についてスタッフに質問をしている人がいます。図書館内のパソコンでレポートの課題に関する情報を検索する人、図書館の資料をコピーして研究資料を集める人、集めた資料をみんなで検討し、グループで発表の準備をする人、静かに自習する人…。

勉強に疲れた人は、雑誌を読んだり、DVDを見たりして気分転換しています。

このように、図書館は様々な使い方ができます。使いこなすことができれば大学生活が充実すること間違いなしです。まずは足を運んでみてください。使い方については、気軽にスタッフに声をかけてください。

また、図書館ホームページやメールマガジンには役に立つ情報が満載です。こちらぜひ利用してください。

図書館はリニューアルします。
常三島キャンパスの図書館本館は、今春リニューアルオープンします。

リニューアル後の図書館では、カフェテリアがオープンし、図書館での勉強の合間にゆっくりくつろぐことが出来るようになります。

グループ研究室を増やし、活発なグループ学習ができる場所を提供する一方、2階には個人机を大幅に増やし、集中して勉強できるスペースも確保しました。

新しくなった図書館をぜひご利用ください。

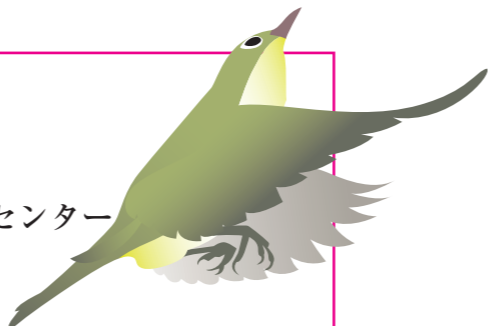


新図書館オープン後のイメージ

図書館ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>
メールマガジン
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/>

春です ようこそ徳大へ からの 歓迎のことば

- 在学生
- 学務部
- 図書館
- uラーニングセンター
- 学生相談室



新入生のみなさん
じつは徳大にもSNSがあるんですよ。
名前は「キャンパスSNS」とあいいい。



武知 智子 学生生活のコンシェルジュとして



「さとあいいい」とは
四国の大学生の生活全般を支援するために、2007年に誕生した新しいコミュニケーションサイトです。

参加資格を大学関係者のみに限定していますので、安心して安全なサイトです。

実生活で知り合つたことのない方々をいと感じて結びつけ、現実的な関係に発展することを願っています。現在、会員数は約1000名です。

「さとあいいい」でお友達になった女子学生のNさんが職場訪問してくれました。びっくりしたけれど、うれしかったです。パーチャルだと思つていた方と実際に会うのはわくわくしますね。

参加方法（招待制）
招待状は大学発行のメールアドレスに届くシステムになっております。また、会員登録サポートもおこなっています。工学部K棟3階uラーニングセンターまでお気軽におたずねください。

招待状のご請求およびお問合せは次まで
ask@sns.ait230.tokushima-u.ac.jp



「学生相談室」が充実した
学生生活を応援します！



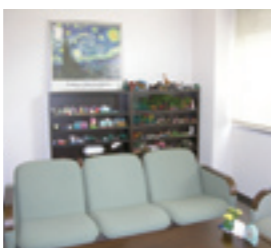
相談室常駐スタッフ（左から井上、的場、岡田）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

学生相談室は、学生さんが悩んだり困ったりした時に安心して相談できる場所です。

修学・履修、進路・就職、人間関係、精神的な問題、法律関係やキャンパス・ハラスメントなど、学生生活にまつわる多種多様な相談を受けております。相談室は、常三島キャンパス（専任スタッフ）が常駐）と蔵本キャンパスにそれぞれ設置しています。

悩みや問題が大きくなる前に、相談室に立ち寄ってください。お話を聞きながら、少しでも悩みや問題が軽減できるよう一緒に考えていきたいと思います。秘密は厳守されます。安心して相談してください。



カウンセリングルーム

相談室利用案内

● 常三島キャンパス 相談室：場所…共通教育5号館1F西側

利用時間：月～金 9：30～17：30

● 蔵本キャンパス 相談室：場所…蔵本会館2F

利用時間：火 13：30～17：30

（※事前に予約をすれば火曜日午後以外も相談可能です。）

利用する場合は、直接来室するか、電話またはメールでお申し込みください。

<相談室電話>088-656-7637

<メール>gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp

保健管理センターは学生の皆さんが健康な生活を送れるよう支援しています。



蔵本保健室スタッフ

保健管理センター常駐スタッフ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保健管理センターは、皆さんが健康な学生生活が

送れるようお手伝いをしていくところで、平成21年3月に改修工事を終え、さらに利用しやすいセンターとなります。

- 主な業務としては
- ・ 定期健康診断：年に1回の健康診断と、結果が出た後の健康指導。
- ・ 病気やけがの治療：身体の具合が悪い時や、急病、けがの治療や処置は、主に内科医師、保健スタッフが対応します。外部専門医療機関に紹介する場合もあります。
- ・ こころの相談室：悩み・ストレス・その他さまざまな要因で、不安やうつなどの精神的不調や体の不調として現われてくることがあります。相談や治療を精神科医師が担当しています。先輩たちも心の健康管理に役立てています。
- ・ 健康診断証明書などの発行：健康診断の結果を必要時に証明書として発行。
- ・ ワクチンなどの予防接種：インフルエンザ予防接種（有料）などの感染予防対策。

施設としては
・ 休養室：体調不良のときベッドで休むことができます。
・ ヘルスチェックルーム：身長・体重・体脂肪計、血圧計、視力計、骨密度測定器、貧血測定器などがいつでも利用でき、その他に、ランニングマシン、エアロバイク、マッサージ器があり、体力作りにも利用できます。

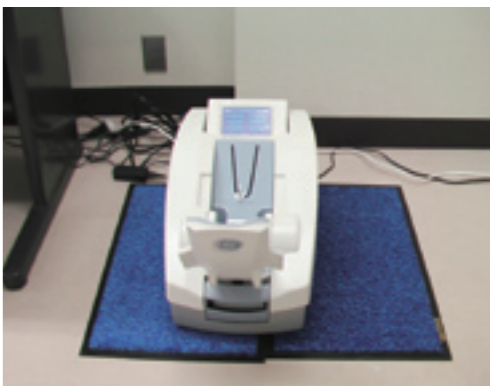
蔵本保健室・蔵本キャンパスにあり、保健スタッフも1名常駐しています。

新入生の皆さん、より良い学生生活を送るためには健康もとても



血圧計

大切です。保健管理センターをぜひ気軽に利用してください。



骨密度測定器



マッサージチェア・エアロバイク

春

ようこそ徳大へ

常三島キャンパス
ごはん屋さんてんこもり

春



店主 中尾 登 なかのぼる
徳大生の食生活を応援します

平成7年にオープンして、この3月で丸13年。「アルバイトはずっと徳大生です。皆さん本当にまじめです。交代するときは先輩からの教えを受け継いで、私からはあまり細かく言わなくてもちゃんとやってくれます。仕事でもお客様でも徳大にはお世話になっていきます」と語るオーナーの中尾さん。「当初は串カツを主体とした居酒屋を経営するつもりでしたが、徳島大学のお客様が多いことから、食事もできる居酒屋へと移行しました」



「毎日食べても飽きないメニュー内容にと、価格にも料理にもこだわりました。保護者の方も学生さんの食生活というのは気がかりでしょうから、栄養を十分取れるようにと、定食には全てたっぷりの野菜サラダを付けています」

ごはんは大・中・小と選べて同じ値段なのが、学生にはうれしい設定です。お米はおいしいだけでなく安全安心なようにと、中尾さんの実家で作っている「きぬひかり」を100%使用。さらに「コーヒーはセルフで飲み放題。でも、「なるべく飲み物を別に取らなくていいように、食事には水ではなく麦茶などを付けるようにしています」との心づかい。

以前と比べて学生に変化はあるでしょうか？
「先輩や先生方とお酒を通じてのコミュニケーションや社交性が苦手になってきたような気がしますね。携帯電話やパソコン等を使う分、人間関係が少なくなってきたんじゃないでしょうか。そのあたりも応援していきたいです」

蔵本キャンパス
クライネヒュッテ

春



堀之夫 ほりのゆきお
少し背伸びをして大人になる頃に

大学時代は年齢的にも精神的にも大人への通過点。未成年から成人となり、社会への責任や義務なども大きく変化します。そしてお酒が飲めるようになります。

クライネヒュッテは、徳大の歯学部設立とほぼ時を同じくオープンして、この2月で29年を迎えました。店内は昔からほとんど変わっていませんが、内装やインテリアに時間や時代が刻まれ、どこか懐かしい、大人の落ち着いた雰囲気を持つお店です。

「昔はしょっちゅう来て、明け方まで飲むバンカラもいましたけど

「昔はひとり飲みに来る学生さんが多かったのですが、今は大勢で飲まれることが多いようで、そうなるとうちの雰囲気はちょっと違いますね。先輩や先生方とおつきあいの仕方も変わってきたように思います」



昔の学生の方が、はじめつけられる自分のライフスタイルを持っていたということでしょうか。いややってそうではないでしょうが、「コミュニケーションの形は変わってきたようです」

「最初は私も若かったので学生さんと話も合い、一緒にゴルフやスキーなどに行ったこともありま。今でも仕事や同窓会などで県外から来たら、寄ってくれる人もいてうれしいですね。学生さんが少しでも安く飲めるようにと始めましたが、昔よりむしろ今の方が安くなっています」

当世徳大生気質

徳島こんにちは

新生の皆さんの中には、初めて徳島に住む人も多いと思います。
徳島がどんなところかを知ってもらうために、一昨年から春号特集で少しずつ徳島の紹介を掲載しています。
今回も歴史や文化、自然など、いろいろな面から徳島を紹介します。
なお、広報誌のバックナンバーは徳島大学ホームページで公開しており、過去の春号特集も見ることができます。

ドイツ兵の演奏会と「お接待」の文化

ベートーベンの第九交響曲は年末によく演奏されますが、その日本初演は大正時代に板東俘虜収容所（現在の鳴門市大麻町）のドイツ兵によって行われました。初演が6月1日であったことから、鳴門市では毎年6月に第九演奏会が開催されています。また、徳島の若者たちがドイツ兵エンゲル氏に習ってオーケストラを結成し、現在の徳島城公園や県庁付近で演奏会を開いたことも記録に残っています。



映画「ルートの楽園」ロケ村(2009年3月閉園)



春でようこそ徳大へ

人形浄瑠璃

阿波人形浄瑠璃は、江戸時代初期から農村舞台などで演じられた人形芝居で、現在も学校のクラブ活動などでも行われる伝統文化の一つとして伝承されています。徳島藩の家臣・阿波十郎兵衛が登場する「傾城阿波の鳴門」が特に有名です。モデルとなった板東十郎兵衛の屋敷跡が徳島市川内町にあり、人形浄瑠璃の上演と関連資料の展示を見ることが出来ます。徳島市八多町などに残る農村舞台は「ふすまからくり」と呼ばれる装置が貴重な文化財です。さらに、徳島の人形浄瑠璃を大道芸として



人形浄瑠璃の舞台

藍染めとうだつの町並み

全国各地に広めた「阿波木偶箱廻し」も最近復活しています。また、徳島では人形浄瑠璃の木偶人形を作る人形師を輩出し、その元相と言われる駒蔵（駒三）は、常三島キャンパス近くの助任本町に住んでいたそうです。阿波木偶人形の特色である大きな頭の人形を初めて作ったとされる天狗久など、多くの人形師の作品を、十郎兵衛屋敷隣接の阿波木偶人形館や松茂町の歴史民族資料館などで見ることが出来ます。身近には、徳島大学本部のガレリア新蔵にも、徳島大学卒業生の製作による人形が展示されています。



藍染め

阿波弁

徳島に初めて来た人は、阿波弁がわからなくて困ったことはないでしょうか。関西弁と似ているようで意味の違う言葉もあり、うっかりすると誤解の元になるので気をつけましょう。いくつか例をあげてみます。

「たじろ」
「せいいなあ」と言われても、怒ってはいけません。「ケチだなあ」と言われたのではなく、「疲れたなあ」「しんどいなあ」という意味なので、「ほうやなあ、しんどいなあ」とでも答えましょう。「そつ」は「ほう」「しんどい」は「しんどい」と言う方が阿波弁らしくなります。なお、「しんどい」は、身体的・精神的な疲れのどちらにもよく使われますが、「せい」は身体的な疲れ・苦しさにだけ使われるようです。

「かく」
「これをかいて」と言われたら、どうしますか。「描く」？「掻く」？と迷ってははいけません。「運ぶ」とか「持ち上げる」という意味なので、さっと持ち上げて運びましょう。お礼を言われたら、「ごちらいか」（どういたしまして）と答えましょう。

「あるでないか」
文字で見ると、あるかないの「か、さっぱりわかりませんが、聞けばすぐにわかると思っています。「あるじゃないか」という意味です。もし本当は「つもなかったら、「いっちょもないでないか」と言い返しましょう。

「やねがこわる」
屋根が壊れた？台風でも来たんですか？そこではなくて、「肩がこる」という意味です。「どしたん？いけるで？」など、いたわりの言葉をかけてあげましょう。「どうしましたか？」は「どしたん？」と言います。また、「いける」は「大丈夫」という意味で、疑問形でよく使います。「イケてる」とは違つので気をつけましょ

ドイツ館



ドイツ館

剣山国定公園

この演奏会は鳴門の第九のように広く知られたものではありませんが、春休みに常三島キャンパス近くの野外で行われるので、気軽に聴くことができます。鳴門のドイツ館を訪れ、さらにこれらの音楽会に参加すれば、大正の徳島の人々が異文化に触れた驚きや、日独の友好的関係など、いろいろな発見があることと思います。ドイツ館の近くには、四国八十八ヶ所の遍路巡拝の出発点である霊山寺があります。巡拝する人々に食べ物や飲み物を無償で提供し、見知らぬ人を温かくもてなす「お接待」は四国に共通する文化であり、これがドイツ兵との友好関係の背景にあるのかもしれない。



霊山寺

剣山は石鎚山に次ぐ西日本第一の高峰であり、日本百名山の一つとしても知られています。絶景と原生林や高山植物などの自然の魅力に加え、日帰りできるほどの登りやすさから、登山客に人気があります。剣山を中心として、県西部の祖谷溪や大歩危・小歩危、剣山南麓の高の瀬峡など、険しい山と清流からなる景勝地が広がっています。祖谷溪一帯は平家の隠れ里として知られ、歴史的にも興味深い地域です。重要有形民俗文化財に指定された祖谷のかずら



うだつの町並み

徳島では古くから藍を用いた染物が盛んに生産され、阿波藍として有名です。合成染料が普及した現在も天然染料として見直されています。町名にその伝統を示す藍住町には、藍染めを手軽に体験できる「藍の館」があり、天然藍による染色の工程を学びながらオリジナルの染物を作ることができます。また、江戸時代の藍商人の隆盛を示す「うだつの町並み」が、美馬市脇町、つるぎ町貞光に残され、歴史的に貴重な建造物群として知られています。「うだつ」は屋根を一段高くした防火壁ですが、藍商人の裕福さを示す装飾として、芸術品とも言える豪華なものもあります。脇町の郷土資料館や藍商佐直吉田家住宅などで、当時の状況を知ることができます。



大歩危



かずら橋

橋や、藁葺の建物で古文書等を数百点展示する平家屋敷民族資料館など、景観と調和した歴史的資料を見ることが出来ます。また、剣山麓の奥祖谷には、平家一族が架設したといわれる奥祖谷二重かずら橋があり、手でロープを引っぱって渓谷を渡る人力ロープウェイなど、秘境の雰囲気味わうことができます。

